

# 世界に平和を・戦争の基地はいらない

羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報 2016.12.5 No. 278 連絡先 042-555-1911



## 朝鮮有事 米軍が日本から直接出撃 日本の主権に関わる重大問題

横田基地に配備が計画されている CV-22 オスプレイは「アジア太平洋地域に所在している米軍の特殊作戦部隊を運ぶのが任務」で、在韓米特殊作戦コマンドも含まれています。11月25日の衆院決算行政監視委員会で宮本徹議員(共産党)は、横田基地への米空軍特殊作戦機 CV-22 オスプレイ配備計画について「朝鮮半島有事で米軍が直接日本から出撃し、日本が交戦国と見なされる、日本の主権に関わる重大問題だ」と追求しました。



米韓の作戦計画では北朝鮮指導部への攻撃などに特殊作戦部隊を投入する計画になっていると宮本議員が質問すると、稲田朋美防衛相は「承知している」と述べました。大問題です。

## 米軍の戦闘行動 事前協議を義務付けたのは「空挺部隊の戦場への降下」

日本の基地からの米軍の戦闘行動に事前協議を義務付けた政府統一見解(下記参照)があります。

戦闘行動には、「空挺(くうてい)部隊の戦場への降下」があげられています。上記委員会で宮本議員は「CV-22のやることは、事前協議の対象となる戦闘部隊の戦場への直接の降下だ」と迫りました。岸信夫外務副大臣は「仮説の質問には答えられない」などとまともに答えませんでした。



横田基地では2012年1月からC-130輸送機による人員降下訓練(上写真)が激しく行われており、毎年500人規模で、すでに延2,500人が降下訓練をしています。特殊作戦機CV-22オスプレイが横田に配備されたら、特殊部隊はこれで人員降下訓練をし、国外へ出撃するのです。

## 「戦闘作戦行動」について(政府統一見解)(1972年、佐藤内閣時の高島条約局長が見解)

- (1) 事前協議の主題となる「日本国から行われる戦闘作戦行動のための基地としての日本国内の施設及び区域の使用」にいう「戦闘作戦行動」とは、直接戦闘に従事することを目的とした軍事行動をさすものであり、したがって、米軍が我が国の施設・区域から発信する際の任務・態様がかかる行動のための施設・区域の使用に該当する場合には、米国は我が国と事前協議を行う義務を有する。
- (2) 我が国の施設・区域を発信基地として使用するような戦闘作戦行動の典型的なものとして考えられるのは、航空部隊による爆撃、空挺部隊の戦場への降下、地上部隊の上陸作戦等であるがこのような典型的なもの以外の行動については個々の行動の任務・態様の具体的内容を考慮して判断するよりほかない。
- (3) 事前協議の主題とされているのは「日本国から行われる戦闘作戦行動のための基地としての施設・区域の使用」であるから、通常の補給、移動、偵察等直接戦闘に従事することを目的としない軍事行動のための施設・区域の使用は、事前協議の対象とならない。

## 横田基地の真夜中の爆音を 米軍は承知しているのか！

(No. 278 の裏面)

米空軍参謀総長のゴールドフィン空軍大將が 11 月 5 日、嘉手納基地を訪問したときのことで、F-16 戦闘機が 10 月 19, 20 日の未明に嘉手納基地を離陸して 100 デシベル前後の騒音を発生した問題について、米空軍参謀総長は釈明をしたそうです。そして報道各社の取材にこたえ、夜間・早朝の航空機騒音を規制する協定についてドイツでの基地司令官時代の対応を紹介。「日本と同じように協定があり、規制時間以外に飛ぶ場合は地元の方にお知らせしていた。地元の理解は、良き隣人であるために必要なこと」と、述べたそうです。(下線は筆者が付けました)

横田基地ではどうでしょうか。今年、特にひどかったのがオバマ大統領の 5 月の G7 伊勢志摩サミットや 9 月の G20 サミット (中国) 参加の時でした。夜間・早朝に C-17 大型輸送機などが 30 回以上も離着陸し、何回も 100 デシベル前後の騒音を発生させていました。

## 木更津駐屯地 MV-22オスプレイとCH-47JAの騒音比較 オスプレイ上回る

政府は千葉県の木更津駐屯地で普天間基地配備 MV-22 オスプレイの定期整備を計画しています。市議会が騒音の調査を求めたため、2016 年 10 月 24 日、木更津駐屯地で、米海兵隊 MV-22 オスプレイと CH-47JA の騒音が測定されました。

場周経路の飛行では、地域住民の生活区域に近い駐屯地外の 2 つの測定地点で同程度の騒音で、駐屯地内のホバリングも、駐屯地外の 2 つの測定地点では区別ができない程度でした。



一方、ホバリングを実施している場所に近い駐屯地内の測定地点では、右の表のように MV-22 オスプレイの騒音が CH-47JA の騒音を上回りました。ホバリングとは空中で停止することです。オスプレイの整備でホバリングチェックで見込まれる高さの下限が地上高 30 フィート (約 9 メートル)、上限が地上高 150 フィート (約 45 メートル) となっています。単位は、dB (デシベル) です。

ホバリング	型名	1 回目	2 回目	3 回目
地上高 約 9 m	MV-22	88 dB	85 dB	89 dB
	CH-47JA	77 dB	72 dB	73 dB
地上高 約 45 m	MV-22	86 dB	91 dB	93 dB
	CH-47JA	81 dB	84 dB	84 dB

## MV-22オスプレイ緊急着陸 米カリフォルニア州 構造的な故障検出か

カリフォルニア州サンディエゴで 12 月 1 日午後 3 時 45 分頃、米海兵隊の MV-22 オスプレイ 1 機が国有林地帯近くに緊急着陸しました。海兵隊当局は安全性を確保するための予防着陸で人的被害はないと説明していますが、機体の損傷や着陸地点での被害などはあきらかにしていません。米専門家は安全上の懸念伴う緊急着陸の可能性が高いと指摘しています。(沖縄タイムス)

## 国連創設71周年記念式典 横田基地内の国連後方司令部で行われる

11 月 21 日、横田基地内で国連 71 周年記念式典が開かれました。「国連の日」は 1945 年の設立を記念するものです。右写真は、「国連の日」祝賀式典で、来賓に挨拶する国連軍司令官ビンセント・K・ブルックス米陸軍大將。式典には、大使、外交官、外務省、防衛省、自衛隊の関係者および在日米軍の幹部が出席しました。(米軍 HP)

